

大切な街と人のために



消防、救急、救助、通信指令、火災予防、警防、総務など

”自分らしさ”を発揮

職種紹介

さまざまな業務を通じて人々の生命を守ります。
ここで紹介する業務の他にも多彩な分野で活躍することができます。

消防隊 火災等の災害現場において消火だけではなく、救助隊・救急隊と連携して支援も行います。町内会等に出向き訓練などは幅広い場面で活躍しています。



通信指令 火災・救助・救急等住民からの「119番通報」を受け発生現場を特定し、必要な隊を選択、出動を指示します。通報者から適切な情報を収集し各隊が円滑に活動できるよう情報提供をしています。



救急隊 急病、事故、災害等の救急現場に急行し、傷病者に適切な応急処置を行いながら、医療機関に搬送します。日常的に応急手当に関する啓発のためにこの救急救命講習も行っています。



予防業務 火災の発生を未然に防ぎ、被害を最小限にとどめることを使命としているのが予防業務です。建物や店舗へ出向き消防用設備や防火管理体制に不備事項がないか検査し防災力の向上に取り組んでいます。



救助隊 火災や交通事故、自然災害などの災害現場で、専門的な知識や技術、特殊な資機材を活用します。オレンジの服に身を包み「レスキュー隊」とも称されています。



機関員 消防車、救急車、はしご車等の運転・操作を任務としているのが「機関員」です。出動指令を受けると、運転し安全・確実・迅速に現場へ到着させるため出動経路の確認等を行っています。



総務業務 消防に関する予算、人事、給与、などを担当しています。基本毎日勤務でデスクワークを中心とした業務を行っています。



”自分らしさ”を発揮

火災・救助・救急等の119番通報を受けるところが通信指令センターです。

通報者から必要な情報を冷静・確実に聴取し、その現場に必要な隊を迅速に選択して出動させています。

通報内容を手がかりに、事案が発生している住所を特定し、現場で活動している部隊の無線統制や情報提供を行うのが通信指令センターの役割です。

動揺している通報者を落ち着かせ、より正確な情報を得ることはとても困難なことがあります。そこで、年代や性別などさまざまな通報者に合わせた話し方を意識し、はっきりと聞き取りやすいように情報聴取することに気を付けています。

現在、通信係に配属していますが、指令センター勤務のほかに救急車・消防車・指揮車など現場へ出動する車両に隊員や機関員として乗車しています。しかし体力面などで、どうしても男性隊員に劣ることがあります。その際は、自分でできること・できないことを判断し、どのようなサポートが必要なのかを伝え、一緒に活動しています。

精神面、体力面などで辛い時があるのも事実ですが、さまざまな経験をすることで自分ならではの視点から物事を見ることができ、傷病者の立場で考え行動することができるようになりました。過去に救急現場で「女性の隊員さんがいてくれてよかった。」という言葉をかけていただいた時は自分の存在意義を感じ、とても心の励みになりました。

これからも「自分らしさ」を忘れず、市民の方が安心できるように勤務していきたいです。



“自分らしさ”を忘れず、市民の方々が安心できるように。

応募動機

中学生の頃、東日本大震災を経験し大変なことが起きているのに自分は何もできない無力さ、災害地へ救助活動に赴く人たちの姿に感動したことを今でも鮮明に覚えています。そこで、自分も災害の最前線で一人でも多くの命を助けたい、安心してもらいたいという目標ができ、救急救命士の資格を取得して消防士になろうと決意しました。



”自分らしさ”を発揮